

グループホームの移転について



横浜市港南区に「ゆうあい港南」を開設して19年、横浜市南区に「ゆうあい南」を開設して14年が経ちました。

「ずっとこの町、この地域で」との気持ちで生活されていた入居者も多くいたと思います。

長年、皆の生活を守ってきてくれた家、もちろん愛着はあります。しかし、長い年月とともに建物は古くなり、「あとどれくらい住めるだろう」と不安に思う気持ちも生じてきました。

入居者やご家族からも「これからの安心」を考えると、新しい家の綺麗さや耐震性、生活のしやすさ等はとても魅力的なお話も度々いただくようになりました。

3年前、「ゆうあい金沢」が新しい建物に移転しており、「次は私たちの番!」との思いもあったことでしょう。

「なるべく早く」という皆さまの声にこたえられるよう、移転に向けた物件探しを始めました。

グループホームとして求める条件に合う物件は、簡単には見つかりません。これから長年暮らしていくことになる家です。部屋数や広さ、入居者の通勤経路や通勤時間等も考え、慎重に検討する必要があるりました。

ほぼ条件を満たしているものの、「1つだけ狭い部屋がある。これでは不公平感が…」等の理由で泣く泣く断念せざるを得ないこともありました。



そしてついに!

港南区上永谷への移転が決定しました。既存の物件ではなく、なんと!グループホーム用にこうよう会が設計した新築の「オーダーメイド」の家です。

1階が「ゆうあい港南」、2階が「ゆうあい南」。2ホームが同建物内にある広々とした「家」です。

5月の連休中に、両ホームともに引っ越しを済ませました。「虫があまり出なくなった」「気密性の関係でエアコンがよく効く」「物音があまり響かなくなった」と、皆から喜びの声が数多く上がっています。

駅からの利便性も良く、バス停も近いので通勤も安心です。



これからは長年、新しいこの家、この地域で暮らしていくこととなります。ご近所の方々と良い関係を築きつつ、皆で安心して過ごすことができるよう、入居者と職員で力を合わせて、新しい生活を作り上げていきたいと思ひます。

グループホームゆうあい 荒瀬 亮介